

# 授業改善プラン

## 1 年 教科 ( 家庭科 )

### 【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
関心意欲態度	○体験的な学習で特に集中し、興味をもって授業に取り組めた。 ▲講義型の授業で集中が続かない生徒がいた。	授業の要点を絞り、説明をする。体験的な学習を取り入れたり、視覚資料を活用したりする。	○意欲的に授業に取り組む生徒が多かった。 ▲忘れ物が多かった。	実習を行うときは前の時間までに連絡をする。繰り返し指導を行う。忘れ物は授業の前までに申告するように指導する。	
創意工夫	○資料から情報を読み取り、自分の生活に照らし合わせ考えることができた。 ▲取り組みに時間が必要な生徒がいた。	机間指導を行い、丁寧に説明し、学習を支援する。指示を少なくし、スモールステップで進める。	○自分の生活に生かす工夫を考えることができた。 ▲自分の考えを表現するのが苦手な生徒がいた。	個人で考える時間を確保し、全員の意見が反映できるような話し合いのテーマや課題を設定する。	
生活の技能	○繰り返し学習し、調理の基礎的な技能を身に付けることができた。 ▲調理の経験が少なく、調理器具が上手に扱えない。	小学校での学習内容を復習する時間をつくる。夏休みの課題で、家庭での実践を増やす。	○夏休みの調理経験を生かし、技能テストを行った。各自の技能の向上が見られた。	今後も、長期休暇で調理を行った後に技能テストを行うことで、自分の技能の向上が実感できるようにしていく。	
知識理解	○実習に意欲的に取り組み、基礎的な知識を習得できた生徒が多かった。 ▲知識の定着が不十分な生徒がいた。	小テストを行い、定期的な復習する機会をつくる。実習の事前事後指導を充実させ、実習と知識を結び付ける。	▲実習での体験と知識を結び付けられていない生徒がいた。	実習の事前指導・事後指導を充実させる。生徒の生活経験に結び付けられるような教材を用意する。	
授業改善の検証方法	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	出前授業などで交流を行う。小中一貫カリキュラムを検討する。	来学期の交流の計画を立てた。小中一貫カリキュラムの見直しを行った。	小中一貫カリキュラムの検討。	交流の計画を立てた。小中一貫カリキュラムをもとに授業を行った。	

# 授業改善プラン

## 2年 教科 ( 家庭科 )

### 【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
関心意欲態度	○集中して授業に取り組んでいた。 ▲忘れ物が多かった。	繰り返し指導を行う。 自己評価に忘れ物の有無を記入し、意識をさせる。	○意欲的に被服製作実習に取り組んだ。 ▲作業時間が長くなると集中が続かない生徒がいた。	実習全体の計画を提示し、見直しをもって授業を受けられるようにする。	
創意工夫	○自分の生活と結び付けて考えることができた。 ▲自分の考えを十分に深めることができなかつた。	提示する資料の数を増やしたり、幅を広げ、自分の考えを深めることができるようにする。	▲作品の使用目的や工夫を考へる時間が少なく、自分の生活に結び付けて考へることが難しかった。	考へるものを自分で決めたリ、考へ方を自分で調べたりする。アレンジの例を多く提示する。	
生活の技能	○実習に意欲的に取り組んでいた。 ▲小学校での学習の定着が不十分な生徒がいた。	小学校での学習を全体で復習する。練習の時間を十分に確保し、学習内容を定着させる。	○基礎縫いの練習を反復して行い、技術が向上した。 ▲進度に差があった。	引き続き基礎縫いの反復練習を行い、縫い方の定着を図る。苦手な生徒には、個別に説明や演示をする。	
知識理解	○視覚資料や実物を使った学習で知識の定着がよい。 ▲知識が定着している生徒と定着していない生徒で差があった。	定期的に学習したことを振り返る機会をつくる。授業の最初の時間に前時の復習を行う。	○被服の様々な単元に意欲的に取り組んだ。 ▲知識の定着が不十分だった。	定期考査前や単元の終わりに学習を振り返る機会をつくる。単元の中で、既習事項と結び付けて説明したり、考へさせたりする。	
授業改善の検証方法	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	出前授業などで交流を行う。小中一貫カリキュラムを検討する。	来学期の交流の計画を立てた。小中一貫カリキュラムの見直しを行った。	小中一貫カリキュラムの検討。	交流の計画を立てた。小中一貫カリキュラムをもとに授業を行った。	

# 授業改善プラン

## 3年 教科（家庭科）

### 【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1 学期		2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	課題分析 (授業分析・プランの一次評価)	一次評価後の 具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて
関心意欲態度	○意欲的に授業に取り組めた。 ▲時間内に作業が終わらない班があった。	学習の目的と時間を明確に伝える。班活動での進行役を決めておく。	○意欲的に幼児のおもちゃづくりや保育体験実習に取り組んだ。	今後も体験的な学習や視覚教材を多く取り入れる。	
創意工夫	○工夫して作品の計画を立てることができた。 ▲幼児の様子を想像することが難しい生徒がいた。	視覚資料を活用し、実際の幼児の様子を見せ、考えやすいようにする。	○幼児のおもちゃ作りで、幼児が喜ぶ工夫することができた。 ▲安全や丈夫さに配慮した工夫が足りなかった。	幼児の心身の特徴を復習する機会を増やす。市販のおもちゃを提示し、自分のおもちゃと比較できるようにする。	
生活の技能	○自分たちで計画に沿って製作を進めることができた。 ▲進度に差があった	製作時間を明確に伝え、時間に合った計画を立てさせるようにする。時間がかかっている生徒には個別に支援を行う。	○保育体験実習では、幼児の気持ちを尊重して接することができた。	今後も視覚資料を多く用いて、幼児の特徴を理解したおもちゃ作りや保育体験になるように指導していく。	
知識理解	○定期テストに向けて意欲的に学習をし、基本的な知識を身に付けた生徒が多かった。	複雑な内容や間違いやすい部分を復習する機会をつくる。	○定期考査に向けて意欲的に勉強していた生徒が多く、点数にも反映されていた。	机間指導を丁寧に行い、分からない箇所はその都度解決できるようにしておく。	
授業改善の検証方法	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子	

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	1 学期の成果と課題	1 学期の成果を踏まえた 具体的な改善、追加事項	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	出前授業などで交流を行う。小中一貫カリキュラムを検討する。	来学期の交流の計画を立てた。小中一貫カリキュラムの見直しを行った。	小中一貫カリキュラムの検討。	交流の計画を立てた。小中一貫カリキュラムをもとに授業を行った。	